

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第1学年 「生活（日本文教出版）」

61時間（60%）

週	指導要領の 主たる内容	単元名	小単元名	時間数	留意点	
1 2	(1)	1. いちねんせいになつたら	①みんな なかよし	1	・学校へ不安を抱えている児童もいるので、次のような活動を中心に行う。 ※幼稚園等で親しんできた絵本を読む。 ※自己紹介し合う。 ※朝の会のあいさつをしたり、朝の準備の仕方を学んだりする。 ※掃除や給食当番の活動をする。 ※授業での約束やきまりを知る。	
			②じぶんで できるよ	1		
			③みんなで できるよ	1		
			④あそぼう まなぼう	1		
			⑤じゅぎょうを たのしく	1		
			5時間	⑥みのまわりの あんぜん		—
3 4 5	(1)	2. がっこうを たんけんしよう	①いろいろな ところへ 行って みよう	2	・学校の様々なところに探検に行く回数を減らすなど工夫する。	
			②じぶんたちで たんけんしよう			
			③こうていを たんけんしよう	1		
			④がっこうに いる ひとに あいに いこう	2	・学校にいる人に自分の知りたいことを聞きに行く回数を減らしたり、自分の知りたいことを紙に書いてやりとりしたりするなど工夫する。	
			⑤みんなの つがくろを あるいて みよう	—	・登下校で気付いたことを朝の会や帰りの会で交流するなど工夫する。	
			⑥たんけんてで みつけた ことを はなそう	2		
			7時間	⑦がっこうの ひみつを もっと さがそう	—	・この単元の始めの学校探検で補う。
5	(7)	3. きれいな はなを さかせたい	①そだてる はなを きめよう	—	・水耕栽培（ヒヤシンス等）を取り入れるなど工夫する。 ・家に持ち帰って世話をし、観察をする。	
			②たねを まこう	1		
			③せわを しよう	家庭		
			④せわを つげよう	家庭		
			⑤さいた はなを たのしもう	—		
			⑥たねを とうろ	—		
			⑦いままでを ふりかえろう	—		・花の様子など気付いたことを朝の会や帰りの会で交流するなど工夫する。
			1時間	⑧あきからも そだてて みよう		—
6 7	(5)	4. きせつと あそぼう —はるから なつ—	①はるや なつを みつけよう	—	・春や夏の自然の様子や自然を使った遊びについては、「6. きせつと あそぼう—あき—」、「9. きせつと あそぼう—ふゆ—」の単元の導入で触れる。	
			②はるや なつを かんじよう	—		
			③あそんだ ことを ふりかえろう	—		
			④あめの ひを たのしもう	—		
			⑤なつを もっと たのしもう	—		
			0時間	⑥なつやすみが やって くる		—
6 7	(7)	5. 生きもの と なかよく ならう	①生きものに あいに いこう	2	・校庭で生きものを探したり、観察したりする機会を減らす。	
			②生きものと ふれあおう	2	・生きものの飼い方や世話の仕方について調べる活動を中心に行う。餌をあげたり世話をしたりすることは常時行う。	
			6時間	③生きものの ことを つたえよう	2	・生きものと触れ合ったり世話をしたりする活動を通して気付いたことを伝え合う。
8 9	(5)	6. きせつと あそぼう —あき—	①あきを みつけよう	2	・導入で春や夏の自然の様子や自然を使った遊びについても触れる。	
			②あきを かんじよう	1		
			4時間	③みつけたあきを つたえあおう		1

9 10 11 12	(6)	7. みつけた あきで あそぼう ※季節の時期を考え、 他の単元と入れ替え て実施する。 10時間	①あきの もので つくって あそぼう	3	
			②みんなで あそぼう	4	
			③あきを ふりかえろう	3	
			④しょうたいしよう	—	・②の秋のおもちやを作って友達と一緒に遊ぶこと で補う。
12 13 14	(2)	8. じぶんで できるよ 8時間	①1日の ことを おもい出そう	3	
			②できる ことを して みよう	3	
			③これからも つづけよう	2	・自分が家庭でさらに続けていきたいことなどを考 える。 (家庭で実践後) 続けて良かったことを伝え合う。
15 16 17	(5)	9. きせつと あそぼう —ふゆ— 10時間	①むかしから つたわる あそびを たのしもう	2	
			②ふゆを みつけよう	2	・導入で春や夏、秋の自然の様子や自然を使った遊 びについても触れる。
			③ふゆを かんじよう	2	
			④ふゆを 生かして あそぼう	2	
			⑤きせつの ちがいを ふりかえろう	2	
18	(9)	10. もうすぐ 2年生 10時間	①1年かんを ふりかえろう	2	
②じぶんの せいちょうを みんなに つたえよう			2		
③あたらしい 1年生を しょうたいしよう			3	・実際に招待するのではなく、新しい1年生にどん なことを教えたいか、一緒にしたいことを話し合 い、新しい1年生に手紙を書いて伝える。	
④もうすぐ 2年生だね			3	・新しい1年生の教室の準備(飾り付け等)の時間 を減らす。	

※時間数の精選方法(例)

○小単元をまとめて指導する。

- ・四季の変化や自然の様子などは、まとめて指導することで、授業時間の削減になります。
 <例>・春や夏の自然の様子や自然を使った遊びについては、「きせつと あそぼう—あき—」、「きせつと あそぼう—ふゆ—」の単元の導入で触れる。 など

○具体的な活動や体験を通して気付いたことなどを朝や帰りの会の時間を使って伝え合う。

- ・具体的な活動や体験を通して気付いたことなどを伝え合う機会については、朝や帰りの会の時間を有効に使うことで、授業時間の削減になります。
 <例>・通学路の施設や安全を守っている人など登下校中で気付いたこと
 ・自分の家で育てている花の様子 など

○家庭での実践で補う。

- ・具体的な活動や体験、生活上必要な習慣や技能について、家庭で実践することで、授業時間の削減になります。その際、家庭への丁寧な説明が必要になります。
 <例>・植物の世話 など